



スポーツ合宿ツーリズム コーディネーター育成事業のご提案
ボノ株式会社 × 株式会社ランブリッジ

▶ **日本全体の高校生・大学生の人数は500万人以上存在する**

文部科学省のデータによると高校生の人数は3,270,400人（H.29年5月）、大学生の人数は2,556,062人（H.27年）。

▶ **高校生・大学生の部活動やサークルは年に1度は合宿を行う**

最近では、運動部に限らず文化部も合宿を行なっている。

▶ **若者が地方に行く機会がない**

学生生活（部活動含む）やアルバイトを中心に生活している学生が地方に行くきっかけがない。

GOAL

地域における関係・交流人口を増やし
地域経済の活性化を図る



CHALLENGE

1. 地域の資源（自然、人、風土）を活かしたスポーツ合宿を定期的に開催できるコーディネーターを集め、育成し、増やす。
2. スポーツ合宿ツーリズムコーディネーターが徹底的に支援されるコミュニティを育成する。

施策の概要



母集団の形成と採用

教育研修

企画実施

継続的な事業へ

スポーツ合宿の誘致を ミッションとする人材の採用



スポーツツーリズム事業を地域で立ち上げたい若者を地域おこし協力隊として募集し、採用する。募集イベントを通じて、スポーツ合宿を既に地域で展開している仲間との関係性も構築する。

地域住民を巻き込んだ 教育研修の実施



着任した地域おこし協力隊が地域で活動するキーマンへの取材を行い、スポーツ合宿を受け入れる際にキーマンとなる地域の人との人脈を構築する。また、地域を巻き込んだスポーツツーリズム事業の計画を作成。

地域住民を巻き込んだ 地域の特徴を出した合宿を企画



スポーツ合宿を開催する協力隊員を地域内外の関連組織が具体的にサポート。スポーツ合宿に特化した旅行会社ランブリッジや、役場、商工会などがコラボレーションする。

継続的な スポーツ合宿の開催へ

第二の故郷になりました！



合宿する学生がスポーツをするだけでなく、地域の小中学生との交流や、農業・林業・漁業の体験、地元の小企業との交流などを通して卒業してからも交流し続けられる仕組みを作る。また、地域おこし協力隊の任期終了後の事業としても継続する。

CONFIDENTIAL

スポーツ合宿の誘致をミッションとする人材の募集と採用



地域でスポーツ合宿ツーリズムコーディネーターの募集プロジェクトが開始されることをイベントや求人メディアを通して発信していく。

▼目的

1. 若者への本チャレンジの認知向上
2. プレーヤーの発掘（地域おこし協力隊）
3. ステークホルダーとの関係づくり
4. 地域住民に対して本チャレンジの認知向上
5. 地域おこし協力隊として採用



▼イベント開催数
2～3回

▼実施時期
未定

▼イベントゲスト候補

- ・株式会社ランブリッジ 代表取締役 余吾 由太
- ・元地域おこし協力隊

▼求人メディア候補

- ・日本仕事百貨
- ・greenz.jp
- ・JOINの地域おこし協力隊募集ページ
- ・役場のホームページ

CONFIDENTIAL

地域住民を巻き込んだ教育研修の実施

着任した地域おこし協力隊がスポーツ合宿を企画・運営する際に連携する地域のキーマンを取材し、それぞれの地域の地域資源や連携できそうな事業者の関係図を把握すると共に、スポーツ合宿を受け入れていく計画書作成、発表会までを行う。

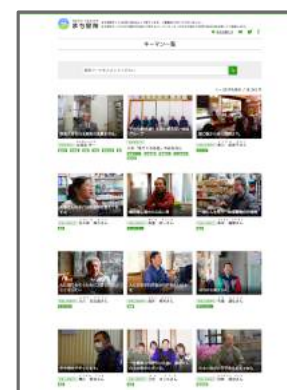
▼目的

1. 新たな挑戦をしたい住民の掘り起こしと見える化
2. 地域の課題や可能性の可視化（取材FW）
3. 住民が交流する場づくり（発表会）
4. スポーツ合宿ツーリズムの事業（活動）計画の作成

▼内容

- ・地域おこし協力隊着任後研修の受講
- ・取材は5名～10名程度を想定
- ・地域住民への計画発表会の実施
- ・地域の人と共に学生スポーツの受入を未来にどう活かすかを考えるワークショップの開催

▼実施時期
未定



地域住民を巻き込んだ地域の特徴を出した合宿の企画運営



地域内外の人を巻き込んだスポーツ合宿の実施。練習や試合をするだけでなく、地域資源を活用した体験や地域住民との交流、地元の小・中学校との交流をしたり地域の人と継続的な関係を構築できる施策として運営する。

▼目的

1. 地域住民への本チャレンジの認知向上
2. 合宿で訪れる学生をファン化
3. 地域の遊休施設の有効活用
4. 学生の滞在中に必要な食材や備品、サービスを地域に還元
5. 小・中学生や高齢者の生きがい作り



▼内容

- ・旅行の手配（宿泊・交通）はランブリッジが担当
- ・地域外のチームへの呼びかけは全国のスポーツツーリズムアンバサダーが担当
- ・地域住民との交流企画、地元事業者への手配は協力隊が担当
- ・地域の学校との連携やメディアへの呼びかけは協力隊が担当

継続的なスポーツ合宿の受入地域へ。

▼目的

一度、関係のできた学校・部活動とは継続的な合宿を受け入れる関係作りをし、卒業した学生は地域住民に会いに継続的に地域を訪れるような施策を目指す。

▼内容

- ・参加した学生が地域住民と深い交流ができる合宿運営
- ・地元の教育機関と訪れる学生の学校（高校や大学）との連携
- ・民泊の積極的な活用
- ・野菜や加工品を定期的に購入してもらう施策などの企画



スケジュール



企画体制作り

実施

振り返り

